

四万十町ブロック塀対策推進補助金

地震発生時のブロック塀の倒壊等による被害を軽減することを目的とする事業を行う者に対し、予算の範囲内において、その費用の一部を助成します。

【補助金額】

- ◆ 1件当たり205,000円以内。ただし津波避難対象地区の自治会及び自主防災組織が申請して行う場合は、1件当たり400,000円以内。

【補助対象経費】

- ◆ 緊急輸送道路又は避難路に面している危険性の高い既存コンクリートブロック塀等の所有者が町内の登録工務店、建設業者又は解体工事業者に係る資材の再資源化等に関する法律に依頼して行う当該塀の撤去又は安全な塀への改修に要した経費。

【補助要件】

- ◆ 町内にある危険性が高いコンクリートブロック塀等の安全対策を行うものであること。
- ◆ 自治会等が申請する場合は、ブロック塀が3件以上であり、その全てのブロック塀に安全対策を行うものであること。

【補助対象者】

- ◆ ブロック塀の所有者
- ◆ 津波避難対象地区の自治会及び自主防災組織。

【詳細のお問合せ先】

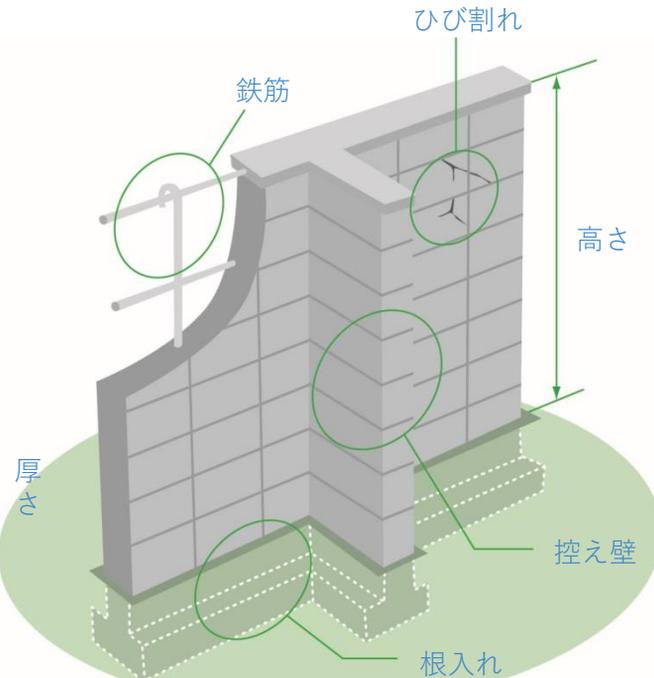
四万十町役場建設課 建築住宅係
(TEL:22-3120)

ブロック塀を点検しましょう

平成30年6月18日に発生した大阪府北部の地震では、ブロック塀の倒壊による死亡事故がありました。国土交通省において、ブロック塀の安全対策のためのチェックポイントを作成しましたので、塀の所有者の方はこれを参考に、ブロック塀の安全点検に取り組むようにお願いします。

ブロック塀の点検のチェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。



出典：
パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会
2013. 1より一部改

組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
 - 2. 塀の厚さは十分か。
 - 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
 - 4. 基礎があるか。
 - 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。
 - 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。
- <専門家に相談しましょう>

- 1. 塀は高すぎないか
 - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
 - ・塀の厚さは10cm以上か。
 - （塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上）
- 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）
 - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
 - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
 - ・塀に傾き、ひび割れはないか。

6. 塀に鉄筋は入っているか

<専門家に相談しましょう>

- ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
- ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。
- （塀の高さが1.2m超の場合）

点検の結果、危険性が確認された場合は、建築士や専門業者に相談し、速やかに付近通行者への注意表示、補修、撤去等の対応をお願いします。

また、避難路に面した危険性のあるブロック塀の撤去等については、補助制度があります。詳細は [四万十町役場建設課 TEL:22-3120](#) までお問合せ下さい。